



ティーンズとしょかん

坂出市立大橋記念図書館
坂出市寿町一丁目3番10号
TEL 45-6677 FAX 45-6678

2019年8・9月号
通巻29号

特集コーナー 青い本



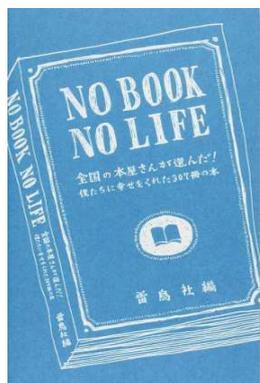
青いものを見ると、すずしげで爽やかな気分になりますよね。

一方、青は若くて未熟なことを表したり、悲しみや不安など憂いをおびた気分に使われることも。二つの反するイメージを持っていて、身近な色でありながらなんだかミステリアスな色ですね。

また、夏のイメージが強い青い色ですが、中国に古くから伝わる陰陽五行説では、季節にそれぞれ色が割り当てられていて、青は春の色なのだそうです。15歳から29歳くらいまでの年齢の若い時代を「人生の春」にたとえたことから、青春という言葉がうまれたといわれています。

8・9月のティーンズコーナーの特集は「青い本」です。表紙が青い本や、タイトルに青がついている本、青春小説を集めました。心まで青く染めるような真っ青なコーナーになっています。青い本で、爽やかな気分を味わってみてください。

(参考『広辞苑 第七版』岩波書店)



『NO BOOK NO LIFE』
雷鳥社/編 雷鳥社
(O19/ライ)
本のない人生なんて！全国の
本屋さんが選んだ笑える本、
泣ける本、人生を変えた本、
タイトルが斬新な本、ジャケ
買いした本etc。好みや目
的、気分にあわせて本を探せ
るので、読書感想文の本選び
にもおすすめ。



『青の王』
廣嶋玲子/著 東京創元社
(Fヒロ)
砂漠に咲く水の都ナルマー
ン。そこでは、王が魔族を使
って国を護っていた。泥棒の
疑いをかけられた少年ハルー
ンは、命からがらたどり着い
た塔で囚われの不思議な少女
を助ける。異世界を舞台にし
たファンタジー。

もっと！
読みたい



- 『青いスタートライン』高田由紀子/著 ポプラ社 (JF タカ)
- 『5秒後に意外な結末 ミノタウロスの青い迷宮』桃戸ハル/編 学研プラス (JF モモ)
- 『青の数学』王城夕紀/著 新潮社 (F オウ)
- 『青の炎』貴志祐介/著 KADOKAWA (F キシ)
- 『いなくなれ、群青』河野裕/著 新潮社 (F コウ)
- 『君が落とした青空』櫻いいよ/著 スターツ出版 (F サク)
- 『青くて痛くて脆い』住野よる/著 KADOKAWA (F スミ)
- 『戸村飯店青春100連発』瀬尾まいこ/著 文藝春秋 (F セオ)
- 『ブルー・ダイブ』ゆうきりん/著 双葉社 (F ユウ)

手に取りたくなる POP の魔力

書店や雑貨屋さんなどで目立つ文字で手書きされた表示を目にしたことはありませんか。

そのカードをPOP（ポップ）といいます。おすすめのポイントやイチ押しの商品が一目でわかるので、お客さんの興味をひくことができ、販売を促進する効果があります。

図書館でも、テーマにあわせて本を集めた特集コーナーなどの展示の時に、本のPOPをつけることがあります。この本を読んで欲しい、ここが



↑色ペンも使ってカラフルに

面白い！という職員の思いをこめて手書きしていますが、書き方は自己流。そこで、POPのプロ（？）である書店員さんに書き方を教えてもらいました。ご協力いただいたのは、宮脇書店本店に勤務する書店員さん。新刊や、注目して欲しい本などに自ら作成したPOPをつけているそうです。コツは、人をひきつけるキャッチコピーを考えることと、色ペンで文字を目立たせたり、枠線やアンダーラインを引いたりして見やすくすること！POPがあると売れ行きも違うそうですよ。

毎年、職場体験学習で図書館に訪れた生徒のみなさんにもPOPの作成をお願いしています。手に取ってみたいくなるPOPのコツを参考にしてみてください。



→完成！目をひきます

新しい本の紹介



『世界の名著見るだけノート』
宝島社（O28/タカ）
ホメロス、ドストエフスキー、夏目漱石などの文豪からニーチェ、ドラッカーまで。世界的名著の成り立ちや時代背景、あらすじなどのポイントをイラスト入りで解説。



『はんぶんこの、おぼろくん』
犬飼鯛音/著 KADOKAWA
（Fイヌ）
小春が初めて恋をした隣の席の“おぼろくん”は、体は男の子だけど心は女の子。嬉しい、かなしい、甘い、切ない……初恋の全てが詰まった物語。

『詩を書くってどんなこと？』若松英輔/著 平凡社（J/901/ワカ）

『羊の告解』いとうみく/著 静山社（JFイト）

『ぼくらの宝探し』宗田理/著 KADOKAWA（JFソウ）

『長浜高校水族館部！』令丈ヒロ子/著 講談社（JFレイ）

『中高生のための学部選びガイド 経営学部・商学部』大岳美帆/著 ペリカン社（376/オオ）

『新大学受験案内 2020年度版』東進ハイスクール/編 ナガセ（376/トウ）

『ぼくの永遠を全部あげる』汐見夏衛/著 一迅社（Fシオ）

『小さな恋のうた』平田研也/著 講談社（Fヒラ）